

令和8年7月21日

釧路開発建設部

## 釧路川で生物観察会を開催します

～夏休みの子どもたちと楽しく生き物観察会を行います～

釧路開発建設部では、釧路川に親しみ河川環境への関心を高めてもらうことを目的に「釧路川の水生生物調査（生き物観察会）」を夏休み中の標茶町内の児童を対象に、釧路湿原川レンジャーの協力を得て実施します。

この調査は、日本の主要な河川で実施している全国水生生物調査で、川の生きもの（カワゲラ類等）が生息しているかどうかで水質状況を簡易的に判定します。

本調査は昭和59年度から続けており、調査結果は水生生物による水質調査結果として公表し、釧路川の環境を把握する資料として活用されています。

取材を希望される方は当日、別紙の実施箇所までお越しください。

### 記

1. 日 時：令和8年7月28日（火）10時00分～12時00分

2. 開催場所：釧路川左岸 KP54.2（瀬文平橋上流）

3. 実施概要：別紙参照

4. 参 加 者：標茶町内の小学生 約30名

5. 協 力：釧路湿原川レンジャー 約20名

6. そ の 他：小雨決行（荒天時の場合は7月30日（木）に延期します）

※釧路川の水生生物調査の活動状況は、釧路開発建設部ホームページに掲載していますので御覧ください。（<https://www.hkd.mlit.go.jp/ks/tisui/qgmend00000074bd.html>）

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部 釧路河川事務所

副所長 小西 聡 電話：0154-21-5500（内線 3621）

河川課 課長 相澤 哲也 電話：0154-21-5500（内線 3630）

釧路開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/ks/>



## 開催場所

詳細は別紙2

## 実施内容

### 調査項目

- ・川の状況調査  
水温、川幅、流速、透視度等
- ・簡易水質調査  
pH、COD、アンモニウム態窒素  
リン酸態リン(低濃度)、DO
- ・水生生物調査  
生物調査、生物観察  
河川に生息する水生生物のうち、水質に係る指標  
性が高い29種を指標生物として、採集した水生生  
物から、4階級で水質の状況を判定します。
- ・魚類等の調査  
魚類等観察

### 昨年度の様子



水の温度は何度かな？

👉 ・天気、気温、水温、川幅、水深、  
流速、川底の状況、水の濁り、臭い、  
透視度などの記録をします。



この水生生物は何かな？

👉 ・水生生物の採取、観察をします。



どんな魚がいるのかな？

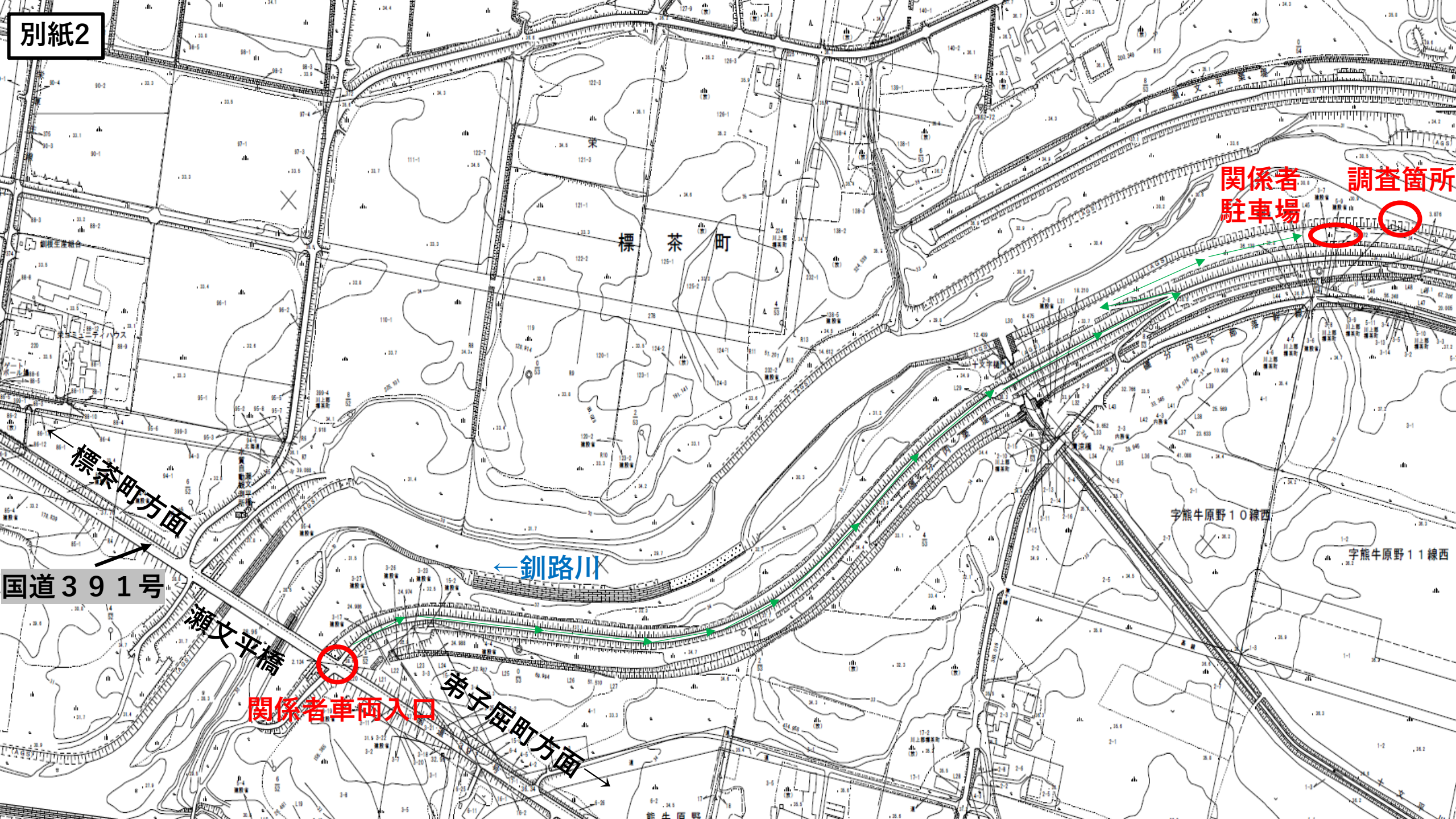
👉 ・事前に採取した魚類を観察をします。



川の水はきれいなのかな？

👉 ・川の水のpH、COD、DO、  
アンモニウム態窒素、リン酸態リンなどを  
パックテストにより簡易調査をします。





標茶町

関係者  
駐車場

調査箇所

標茶町方面

国道391号

釧路川

瀨文平橋

関係者車両入口

弟子屈町方面

字熊牛原野10線西

字熊牛原野11線西



# 【参考】水質階級と指標生物

釧路川では、きれいな水(水質階級Ⅰ)の指標生物(カワゲラ類)がよく見られます。  
※赤囲いが釧路川で主に確認されているきれいな水の指標生物です。

## きれいな水(水質階級Ⅰ)の指標生物

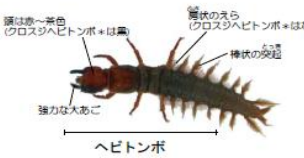
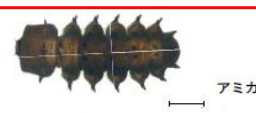
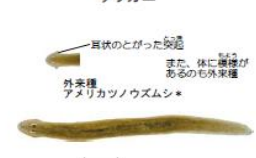
|                                                                                                                                                     |                                                                                                   |                                                                                                                                                                                        |                                                                                                   |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>カワゲラ類</b><br>尾は2本で、胸の下面や腹の末端にふさ状のえらがあるものが多い。足のつめは2本。<br>浅流の石の間や、流れがゆるやかで落葉などがたまっているところにすんでいる。<br>●まちがえやすい生物<br>カゲロウ類とまちがえやすいが、足のつめが2本あることで区別される。 |  <p>カワゲラ類</p>    | <b>ヨコエビ類</b><br>体の長さは実物の大きさの目安です。<br>*のついている生物は、よく似ていますが指標種(水質判定に使う水生生物)ではありません。<br>体は左右に平たく、背中が丸まった小さなエビのような形をしている。<br>からだの色はオレンジ色や茶褐色のものが多い。<br>主に上流の石の下や水中にたまった落葉の間にすんでいることが多い。     |  <p>ヨコエビ類</p>   |
| <b>ヒラタカゲロウ類</b><br>足のつめは1本で、尾は長く2本。目が上についており、体全体が平たくカレイのような形。腹の両側に木の葉状の大きなえらがある。<br>流れの速いところの石に体を密着させて生活している。<br>●まちがえやすい生物<br>カワゲラ類とまちがえやすい。       |  <p>ヒラタカゲロウ類</p> | <b>ヘビトンボ</b><br>大きな強いアゴをもち、腹に糸のような横にのびる長い突起があり、その付け根にえらがある。肉食性で他の水生昆虫をえさにする。川底の石の下などにいる。                                                                                               |  <p>ヘビトンボ</p>   |
| <b>ナガレトビケラ類</b><br>体は細長いイモムシ状で、足は3対。腹の色はうすい。頭と前胸が固くなっているが、他はやわらかい。<br>肉食の種類が多く、上流の水温の低い、きれいなところにいる。流れの速いところに多い。<br>幼虫は網や巣をつくらずに石の上や間を歩く。            |  <p>ナガレトビケラ類</p> | <b>プユ類</b><br>体はこげ茶色で、腹の後方が太くなっている。尻に吸盤があり、流れの速い川底の石の表面や草にしっかりとついている。親になって人の血を吸うのは5種類くらいである。                                                                                           |  <p>プユ類</p>     |
| <b>ヤマトビケラ類</b><br>体は太くイモムシ状で、足は3対で短い。体色は茶色で、頭と前胸は固くて茶色。砂つぶでできた亀の甲のような巣をかついでいるのすぐ分かる。<br>巣の下面には頭と尾部を出す穴がある。                                          |  <p>ヤマトビケラ類</p>  | <b>サワガニ</b><br>甲羅の大きさは2～4cmで、色は赤みがかったものから青みがかったものまでいろいろあり、比較的浅いところの石の下にいる。<br>腹帯の太いのがメス、細いのがオス。本州で淡水域で一生涯を過ごすカニはこの種類だけである。<br>●まちがえやすい生物<br>海に近い川では、海からモクズガニが上ってくるが、モクズガニは、ハサミに毛の束がある。 |  <p>サワガニ</p>    |
| <b>アミカ類</b><br>頭には2本の触角があり、ロボットのような形をしている。腹に6個の吸盤があり、その吸盤で急流の岩の上にとりついてる。                                                                            |  <p>アミカ類</p>    | <b>ナミウズムシ</b><br>体の色は茶色、ねずみ色、黒色。体はやわらかく、切れやすい。また、体には節(体節)がない。プラナリアともよばれ、石の上をすべるようにはう。<br>●まちがえやすい生物<br>ヒル類に似ているが、ヒル類は前後の端に吸盤があり、シャクトリムシのように動く。<br>また、ナミウズムシに似た外来のウズムシが分布を広げている。        |  <p>ナミウズムシ</p> |

表 水質階級と指標生物の関係

| 水質階級  | 種類数  | 指標生物                                                             |
|-------|------|------------------------------------------------------------------|
| 水質階級Ⅰ | 10種類 | アミカ類、ナミウズムシ、カワゲラ類、サワガニ、ナガレトビケラ類、ヒラタカゲロウ類、プユ類、ヘビトンボ、ヤマトビケラ類、ヨコエビ類 |
| 水質階級Ⅱ | 8種類  | イシマキガイ、オオシマトビケラ、カワニナ類、ゲンジボタル、コオニヤンマ、コガタシマトビケラ類、ヒラタドロムシ類、ヤマトシジミ   |
| 水質階級Ⅲ | 6種類  | イソコツブムシ類、タニシ類、ニホンドロソコエビ、シマイシビル、ミズカマキリ、ミズムシ                       |
| 水質階級Ⅳ | 5種類  | アメリカザリガニ、エラミミズ、サカマキガイ、ユスリカ類、チョウバエ類                               |

表 水質階級

| 水質階級  | 川の水のよごれ  |
|-------|----------|
| 水質階級Ⅰ | きれいな水    |
| 水質階級Ⅱ | ややきれいな水  |
| 水質階級Ⅲ | きたない水    |
| 水質階級Ⅳ | とてもきたない水 |

国土交通省HP(川の生きものを見つけよう！)

[https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo04\\_hh\\_000296.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo04_hh_000296.html)

環境省HP(全国水生生物調査のページ)

<https://water-pub.env.go.jp/water-pub/mizu-site/mizu/suisei/about/way/text1a.html>